

県内初！精神科病院長期入院患者及び 病院職員向け施設見学バスツアーの実施



健康福祉部 西部健康福祉センター
福祉課 精神保健福祉班

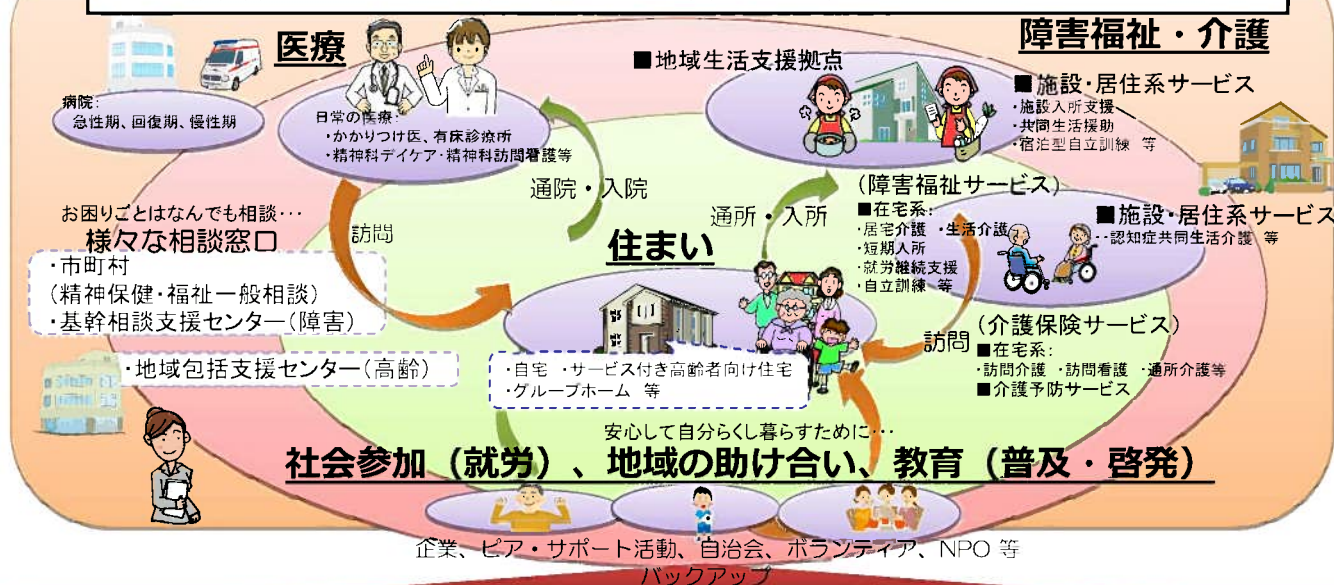
いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

背景・課題

○精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

「入院医療中心から地域生活中心へ」から発展した新たな理念
精神障害のある方が地域の一員として、安心して自分らしく暮らすことができる



市町村・障害保健福祉圏域・県全体ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場、市町村・県

○精神病床における入院患者数

H30.6.30時点での入院 単位:人

在院期間	1年未満	1年以上	不明	総数
全国	108,471	171,620	724	280,815
本県	2,011	3,277	182	5,470

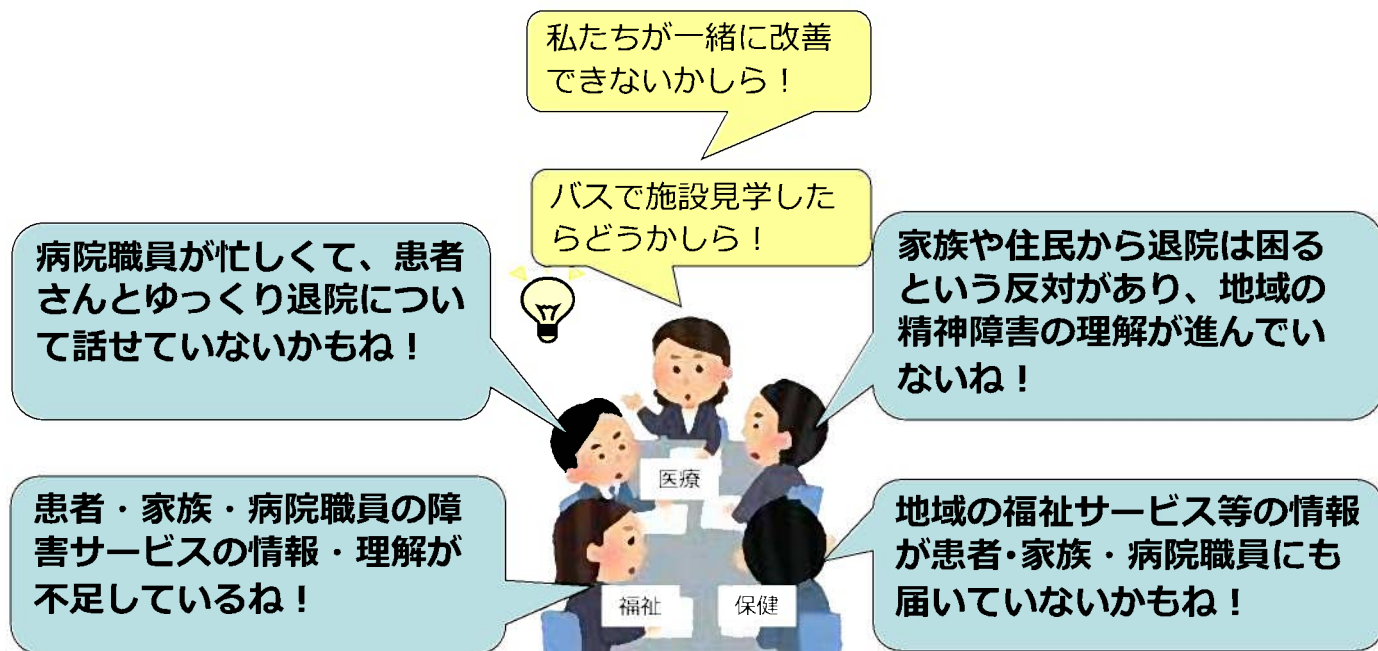
出典：精神保健福祉資料

対応策の検討

退院を促進するために「中東遠圏域地域移行部会※」で協議

・地域に戻り生活するため対応策の検討

※精神障害のある方のための福祉施設、精神科医療機関、5市1町、県等の職員31名で構成



施設見学バスツアーの企画・実施

企画に当たって部会で出された問題点	部会のメンバーで工夫
①入院患者を外に連れて行き、何かあったらどうするのか	・病院職員に、対象患者※の選定、付き添い参加、患者の内服薬持参を依頼 ※1年以上の入院で、病状が安定し、主治医の許可ある者
②入院患者が参加してくれるのか（精神疾患特有の意欲低下あり）	<病院職員に以下を依頼> ・バスツアー案内の院内掲示 ・患者の不安を軽減するための、開催趣旨説明
③多忙の中病院職員が参加してくれるのか	・病院に出向き、バスツアー趣旨を病院職員に丁寧に説明 ・一度に複数の福祉施設見学を調整し、時間短縮と効率化
④見学は生活している地域毎が良いのではないか。	・生活圏域（中遠、東遠地区）毎に実施

○患者・病院職員のメリット

- ・手続きの手間なし
- ・一日で複数の福祉施設を把握



施設見学バスツアーの様子

施設見学バスツアー

入院中の皆様へ、退院した後に利用できる福祉施設を見学するツアーです。
中遷地区と東遷地区の2地区に分けて行います。
各地区の参加希望者を募集します。
参加希望や質問がありましたら、お気軽に下記職員にお問い合わせください。

○中遷地区

日時：令和元年11月13日（水） 9：15集合
集合場所：県中遷総合庁舎正面玄関（穂田市見付）

ルート：さわや家 ⇒ $\left\{ \begin{array}{l} \text{ブルーホームあほろん} \\ \text{学び舎あいまいもこ} \\ \text{袋井いろいり} \end{array} \right\}$ ⇒ 羅隼チャレンジ工房
（掛川市） （袋井市） （穂田市）

○東遷地区

日時：令和元年12月3日（火） 9：15集合
集合場所：県西部保健所掛川支所正面玄関（掛川市金城）

ルート： $\left\{ \begin{array}{l} \text{グループホーム風音} \\ \text{工房しおさい} \end{array} \right\}$ ⇒ 工房オアシス ⇒ さわや家
（御前崎市） （菊川市） （掛川市）

参加費は無料です。
お昼を準備します。
14時頃に集合場所に戻ります。



申込締切日：10月25日（金）

※ 希望される方は、病院職員に申し出てください。
主治医の許可が出た場合、参加できます。
当日の施設見学ツアーには、病院職員が同行します。
※ 申込み者の人数によっては、調整する場合があります。

お問い合わせ ○○病院 担当スタッフ ▲▲▲

中東遷圏域自立支援協議会 地域移行・地域定着部会



共同生活施設

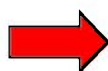


就労支援施設

院内掲示

効果① 入院患者の声（20名）

- ・地域の施設を見て、**退院後のイメージ**が持てるようになった。
- ・**一度に複数**の施設を見学できて良かった。
- ・もう少し多くの施設を見たい。
- ・就労支援施設での作業内容が良かった。作業体験は緊張した。
- ・仕事関係の場所をもう少し見たい。
- ・とても素敵な体験をさせてもらい嬉しかった。楽しめた。
- ・就労支援施設で作ってくれた、お弁当がとても美味しかった。



不安軽減、退院への意欲喚起

- 90%が参考になった。
- 75%が今後も参加したい。



効果② 病院職員の声 (21名)

- ・書面では分からない施設情報、利用者の生の声を聞くことでため、患者と一緒に学べた。
- ・退院後に必要な能力を知ることができ、入院中に練習すべきことが分かり個別ケアに生かしたい。
- ・入院患者の退院後の生活のシミュレーションができた。
- ・病棟では見られない患者の笑顔を見ることができた。
- ・一度に複数の施設を見学できた。定期的に機会があると良い。
- ・当院でもこのような取組を導入してみたい。
- ・長期入院患者は特に社会復帰に不安があるので、今回得た情報を他の入院患者にも発信したい。

➡ 患者支援の知識の向上 (退院促進)

- 全員が参考になった。
- 全員が今後も参加したい。



御清聴ありがとうございました



中東遠圏域地域移行部会メンバー
今後も病院、事業所、市町と連携・協働して
精神障害のある方の支援に努めてまいります